

令和8年度 自治大学校研修のご案内

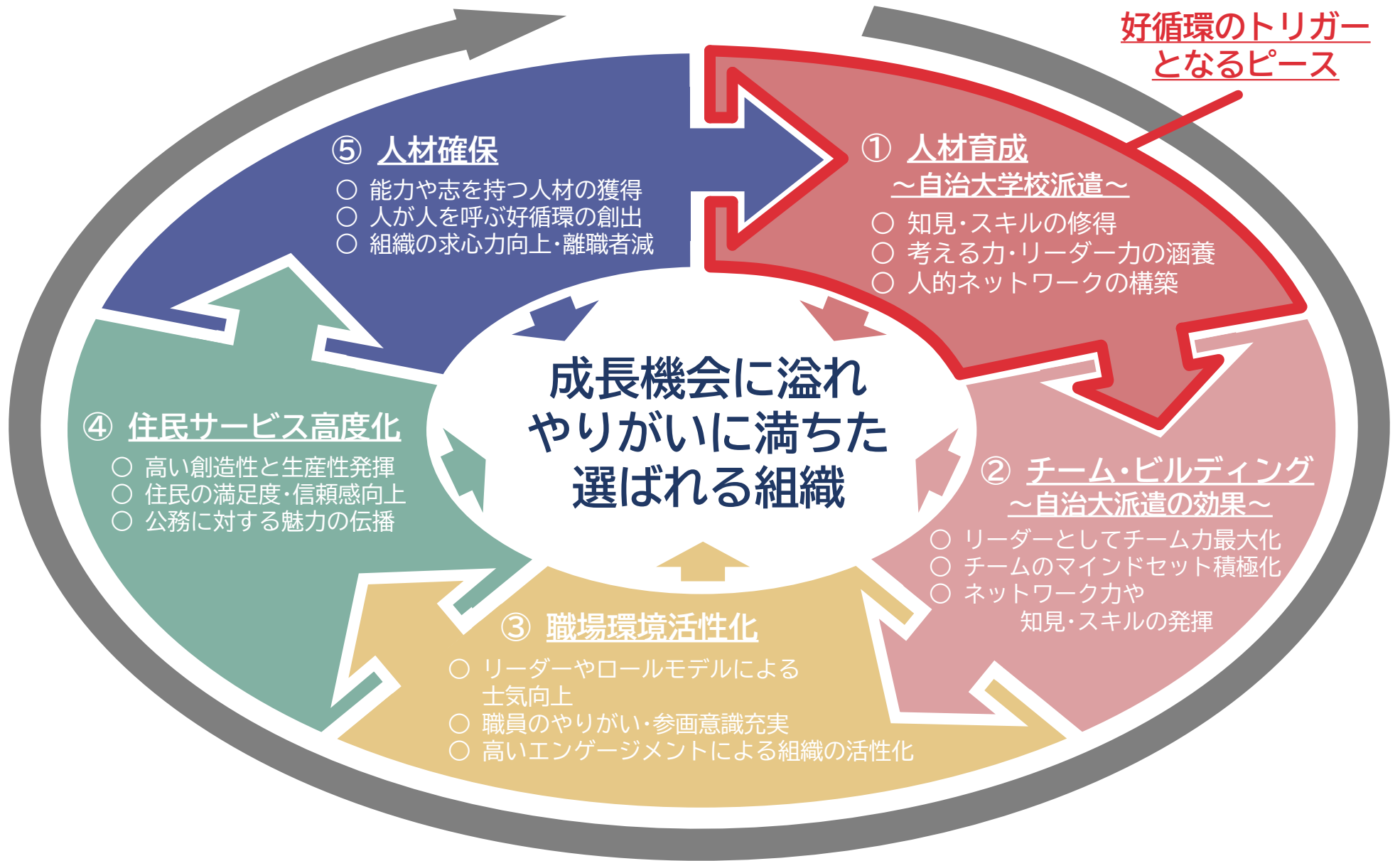
— 今こそ、人材育成！ —



令和8年3月

“人材育成”から始まる好循環！

— 自治大学校への職員派遣は未来への戦略投資 —





令和8年度研修計画のポイント

1. AI時代の新たなデジタル人材セミナー（拡充）

○地方公共団体におけるAIの効果的かつ実践的な活用が求められる中、専門的視点からの講義や先導事例の共有、意見交換に加え、AIの導入方策や留意点等を学ぶことを通じ、AI時代のデジタル人材育成・確保を図ります。【年2回（8月、11月）、各4日間程度】

2. サイバーセキュリティ人材育成研修の新設

○高度化・巧妙化するサイバー攻撃等への脅威から自治体の情報システムを防御するため、サイバーセキュリティ人材の育成が急務であり、その中核を担う職員を主な対象に、基本的な事項の講義や実践的な演習等を実施します。【年2回（10月、12月）、各1週間程度】

3. リーダーシップ・マネジメント講義体験コースの新設

○地方公共団体の人手不足が深刻化する中、組織が持つ能力を最大限引き出すとともに職員のエンゲージメントを高めるため、人事・研修担当者を主な対象に、リーダーシップ・マネジメント講義の体験受講及び意見交換を実施します。【年2回（7月、9月）、各3日間程度】

4. 法制基礎研修の独立コース化（新規）

○多様化する職員採用制度に対応し、法学の初学者や学び直し（リスキリング）を必要とする職員を主な対象に、行政法や地方自治法をはじめ地方公共団体職員に必須の法制度についてその基本を短時間で習得させ、業務執行の基盤となる法制能力の強化を図ります。

【年2回（5月、12月）、各1ヶ月程度】

※日程は予定です。



幹部人材養成コース(一般研修課程)

- 全国の地方公共団体から、その将来を担う幹部候補生の方々が自治大学校に集い、
 - ・ **第一線で活躍する講師**による、法制課目、公共政策課目、行政経営課目等の講義を通じた、**実践的な知識の習得**
 - ・ **様々な演習**を通じた、**自ら考え、判断できる人材の育成**
 - ・ 全国の地方公務員の仲間との議論や共同生活を通じた**人的ネットワークの形成**を図ります。

1. 第1部課程

- ・ 都道府県、指定都市、中核市、施行時特例市、特別区等の**幹部候補生職員**(係長～課長補佐級等※)を対象
- ・ 研修期間等：年2回(5月～、10月～)、宿泊研修(約4か月半)

2. 第2部課程

- ・ 市町村(指定都市、中核市を除く)等の**幹部候補生職員**(係長～課長補佐級等※)を対象
- ・ 研修期間等：年3回(5月～、9月～、12月～)、宿泊研修(約2か月半)

3. 第1部・第2部特別課程

- ・ 都道府県、市区町村等の**女性幹部候補生職員**(係長～課長補佐級等※)を対象
- ・ 研修期間等：年2回(8月～、1月～)、宿泊研修(約1か月)等

4. 第3部課程

- ・ 都道府県、市区町村等の**管理職職員**(課長級以上)を対象
- ・ 研修期間等：年1回(7月～)、宿泊研修(約3週間)

※係長～課長補佐級の方に加え、これらの職を見据えた職員の方も対象としています。3



令和8年度 専門研修課程

○ 専門研修課程では、特定の行政分野に必要とされる高度な知識、実務処理能力の充実を図るため、最新の状況を踏まえた講義や実践的な演習等を重点的に実施します。

課 程		定員	日数	研 修 期 間	対 象・特 記 事 項
税務専門課程 税務・徴収 コース	第24期	120名	24日	令和8年10月15日～11月18日	① 都道府県及び市区町村の職員 ② 一部事務組合等の職員 ※ 税務・徴収事務経験年数が3年以上の職員を対象 ※ 研修期間内における「課題レポート」の作成が修了要件
税務専門課程 会計コース	第44期	50名	(宿泊研修) 58日	【事前研修】 令和8年3月中旬 【簿記会计学通信研修】 令和8年3月中旬～6月中旬 【税務・会計研修(宿泊研修)】 令和8年7月9日～10月9日	① 都道府県及び市区町村の職員 ② 一部事務組合等の職員 ※ 本研修は、 <u>税理士法に基づく指定研修(税理士法第8条第1項第10号)として位置づけられており、修了試験に合格した者は、必要な税務事務経験年数を満たすと税理士試験が全て免除され、税理士となる資格が与えられる。</u> ※ 事前研修は、簿記3級レベルに達していないと見込まれる者に対し実施。
監査・内部 統制専門課程	第27期	50名	28日	令和9年1月15日～2月25日	① 都道府県及び市区町村の職員 ② 一部事務組合等の職員 ※ 本研修は、 <u>地方自治法に基づく指定研修(地方自治法施行令第174条の49の21)として位置づけられており、修了した者は外部監査契約を締結できる行政実務経験者の必要経験年数10年以上を5年以上に短縮できる。</u> ※ この課程を修了し、演習を通じ監査に必要な知識、技能を有すると認められる者については「自治体監査指導者」と認定する。



令和8年度 特別研修等

- 特別研修等では、国・地方を通じて推進する必要がある重要な政策課題に係る人材育成を図るため、各行政分野の担当部局からの要請等を踏まえ、AI時代のデジタル人材確保・育成特別セミナー、リーダーシップ・マネジメント講義体験コース、サイバーセキュリティ人材育成研修等を実施します。

課 程	定員	日数	研 修 期 間	対 象・特 記 事 項
新 AI時代のデジタル人材確保・育成特別セミナー	50名	4日	①令和8年8月頃 ②令和8年11月～令和9年1月頃	・AI利用による業務効率化などの諸課題の解決を進めたい地方公共団体を対象として、AI時代のデジタル人材の確保・育成を支援することを目的としている
新 リーダーシップ・マネジメント講義体験コース	-	3日程度	①令和8年7月中旬～下旬 ②令和8年9月中旬～下旬	・管理職としてのリーダーシップ・マネジメント能力の養成を考える観点から、主に人事・研修担当者を対象とし、関連課目の一部を受講
新 サイバーセキュリティ人材育成研修	50名程度	別途連絡	①令和8年10月中旬～下旬 ②令和8年12月上旬～中旬	・セキュリティ対策の企画立案を担う都道府県・市区町村の職員
DX推進リーダー育成特別研修	50名	5日	①令和8年9月頃 ②令和8年12月頃	・都道府県、市区町村、一部事務組合等のDX推進担当などの職員
外部デジタル人材(DX推進リーダー等)特別研修	30名	3日	別途連絡	・民間からDX推進のために都道府県及び市町村、一部事務組合で登用され、又は登用される予定の者等
自治体CIO／CDO育成研修	35名	3日	①令和8年8月3日～7日 ②令和8年11月9日～11月13日	・CIO／CDO候補者あるいは補佐官候補者、デジタル部門責任者、監督者及びスタッフとなることが期待されている者
地域脱炭素研修	30名	3日	令和8年秋頃(予定)	・都道府県・市区町村の地域脱炭素関連施策に携わる職員等
医療政策短期特別研修	30名	10日	令和8年8月3日～7日、 8月17日～21日	・医療政策の総合的な企画立案を担う都道府県及び市区町村の職員 ※寄宿舎対応のみ
災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修	約40名	2日	令和8年6月4日～5日	・地方公共団体、地域国際化協会等の職員で、災害時の外国人対応に係る研修を受講した者
研修企画運営実務特別研修(マネジメントコース)	-	通年	令和8年4月～令和9年3月	・一般研修課程の受講に加え、実際の研修マネジメント実務や先進地の取組事例等の調査に取り組むことにより、幅広い知見を習得
修士課程連携特別研修	-	通年	令和8年4月～令和9年3月	・政策研究大学院大学修士課程(公共政策プログラムの地域政策コース及びまちづくり政策コース) ・一橋大学国際・公共政策大学院修士課程(公共法政プログラム・1年コース)
新 法制基礎研修コース	-	16日	①令和8年5月22日～6月12日 ②令和8年12月4日～12月25日	・多様化する職員採用制度に対応し、法学の初学者や学び直し(リスキング)を必要とする職員を主な対象に、行政法や地方自治法をはじめ地方公共団体職員に必須の法制度についてその基本を短期間で習得させ、業務執行の基盤となる法制能力の強化を図る

「行ってよかった」と思える研修が自治大にあります –自治大 入校前の不安と卒業後のリアルな声–

自治大に行くべきか...最後までなかなか踏み切れなかった

振り返れば、あの日の決断が自分のキャリアの分岐点でした。
今では、背中を押してくれた職場と家族に心からありがとうと言える自分があります。

家族と離れるのはやっぱり寂しい...

帰省のたびに笑顔が溢れました。
離れたからこそ、改めて家族の温かさを深く実感できました。



管理職なんて自分にはまだまだずっと先の話だと思っていた...

全国の仲間と語り合っているうちに、“挑む側の自分”が顔を出しました。
前に踏み出す勇気と確かな自信を手にできました。



研修期間を無事に終えられればそれでいい

終わってみれば、“無事”どころか人生の宝物だらけ。
悔しさも喜びもぜんぶ含めて、かけがえのない日々だったと胸を張って言えます。

休日は立川辺りでのんびりできれば十分かな

実際は、関東一円の文化・芸術・スポーツ・まちづくりを
“体で感じる週末”に。
刺激が多すぎて、休む暇がないほどでした。



地元でちょっとでも役に立つスキルを得られれば...

スキルだけではなく、考える力や伝える力、導く力、そして公務に向き合う
情熱と使命感を得ることができました。

長く職場を離れるのは正直気が引ける... そこまでして行く必要があるのだろうか？

公務員人生の折り返し地点で、自分の役割や働き方を含め、
自己を見つめ直す貴重な機会となりました。
「職場に必ず恩返しする！」という新たな決意で業務に取り組みます。



研修ってこんなに長いのか...？

終わってみれば、全力で走り抜けたジェットコースターのような
日々でした。
むしろ今では、“まだまだ足りない、もっとたくさんを学びたい”
とすら思っています。

オンラインで十分じゃない？そう思っていた...

講義や演習の熱量に圧倒されました。
政策立案、ファシリテーション、プレゼンなどこれまで
眠っていた力が目を覚ます瞬間がそこかしこにありました。



上司に胸を張って報告できるような情報が 少しでも聞ければ...

少しどころか各分野のトップから「本質を見抜く視点や洞察力」を
授けられ、世界の見え方が変わりました。

他の自治体の知り合いが少しでも増えれば嬉しいけれど...

気づけば、深夜まで熱く語り合う仲間ができていました。
全国に、生涯つながる“戦友”と呼べる存在が生まれ、ここで育んだ絆は
今ではかけがえのない宝です。



自治大学校について

自治大学校は、地方公務員のための国の研修機関として、恵まれた武蔵野の大地と広々とした空間を十分に活用し、豊かな研修環境と生活空間の中、地方公務員に対する高度な研修を行っています。

■沿革

- ・ 昭和28年 8月 自治大学校設置法施行
- ・ 10月 自治大学校開校
- ・ 昭和36年 5月 港区麻布校舎完成
- ・ 平成15年 4月 立川校舎移転
- ・ 令和5年10月 創立70周年

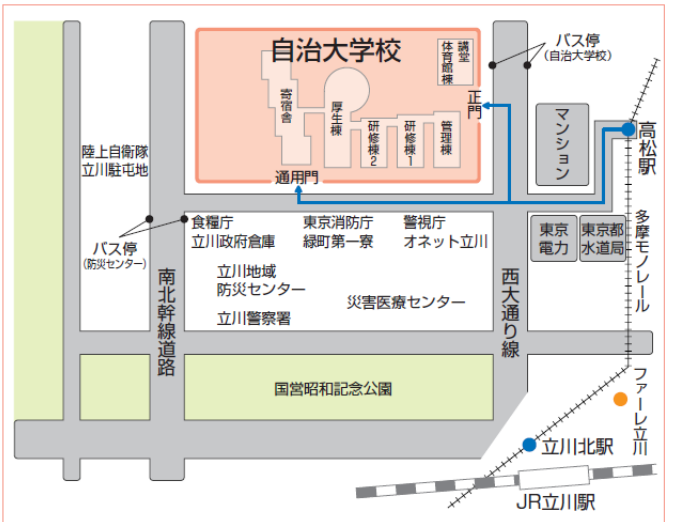
■施設

①施設規模 敷地面積 50,000㎡
延床面積 28,660㎡

②施設概要 管理棟、研修棟、
厚生棟(食堂、図書室ほか)
寄宿舍(洗心寮、麗澤寮)
講堂、体育館、グラウンド、
テニスコート



■周辺図



■アクセス

東京駅からJR立川駅まで 約40分

モノレール立川駅から高松駅まで 約3分

モノレール高松駅から自治大学校まで
徒歩約6分

